

元気で長生き応援団

よっせ

第 123号 2014年 6月 11日 (水)

発行

NPOライフケア浜松 ☎ 053-426-0691

浜松市南区恩地町 263

(株)LCウェルネス

デイホーム・ここ倶楽部 ☎ 053-427-3244

浜松市南区恩地町 263



「言う者は水に流
し、聞く者は石に刻
む」

新聞の投書欄にあつた言葉。ある寺の門前にあつたそうです。意味は「言った者は相手を傷つけたなど気づかず忘れる、言われた方はいつまでも心に残る」とありました。

これを読んで、ドキッとなりました。気づかずに、無意識に人の心を傷つけてしまう、ということがあるでしょう。こちらは忘れても、相手は決して忘れません。今までにこんなことがどれくらいあつたのだろうか、と私は考えました。

逆に、アイツに私は嫌なことを言われたけど、私は覚えてるが、アイツは忘れてるだろうな、ということもあります。

子どもの世界のイジメでも、されたほうは決して忘れないでしょう。イジメた方は案外

に忘れているかもしれ
ません。それが被害者
はいっそう許せないの
ですね。

国と国の間でも言え
ます。植民地として支
配された人たちは忘れ
ない、どころか子や孫
も覚えています。支配
した方は忘れないまで
も、たいして気にとめ
ない、ましてその子や
孫はいじめた事実さえ
知らない、あるいは、
もう時効じゃないの、
ぐらいの軽い気持ちか
もしれません。相手の
身になって思う、とい
うことは難しいですが、
心がけ
たい。



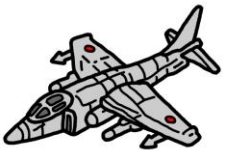
ここ倶楽部 朝市

6月11日(水) 9:30~

- ・採れたて新鮮野菜
 - ・花・野菜の苗
 - ・ぬか漬
 - ・各種のおいしいお総菜もあり
- お誘い合わせて、ぜひおいで下さい

不安なこと

まさか自分が生きて
いる間に、日本が再び
戦争をする国になりそ
うな不安を、抱くこと
になるうとは思ってい
ませんでした。このま



ま手を拱（こまね）い
ていると子どもや孫の
時代にまた、戦争の惨
禍を味わうことになり
かねません。

昭和二十年八月、敗
戦のとき私は一歳四ヶ
月でした。もちろん戦
争は知りません。戦後
の苦しさ、ひもじさを
かろうじて覚えている
程度です。

私は、徹底した民主
教育を受け、憲法の平
和主義を素晴らしいも
のとして育ってきました。
それは永久に続く
と思ってきました。

今、政治家の中に戦
争を知っている者はほ
とんどいません。戦争
で甘い汁を吸って、戦
争で肥え太った者の孫
たちは、政治家の中に
います。彼らはひよつ
とすると戦争に甘い幻
想を持っているのかも
と私は恐怖物語的な妄
想を抱きます。

一方、国民の九十九
パーセントは戦争で家
族を失ったり、家・財
産をなくしたり、と犠
牲となる人たちです。
でもその記憶は生きて
いません。

すでに昭和二十年元
旦の日記に次のように
書いた人がいます。

「(日本国民)が本当に
戦争に懲りるか、どうか
は疑問だ。(中略)

当分は戦争を嫌う気
持ちは起ろうから、その
間に正しい教育をしな
くてはならぬ。」(清沢
冽「暗黒日記」、家永三
郎著「戦争と教育をめぐ
って」より孫引き)

すごい洞察力です。
清沢冽(きよし)はジ

ヤーナリスト。アメリ
カで長く活動。昭和二
十年五月に六十五歳で
急逝。生きていれば戦
後の日本をリードして
いたかもしれませぬ。

また、家永三郎先生
は半世紀近く前、次の
ように書いています。

(私事で恐縮ですが、
私は直接家永先生の講
義を受けたことがあり
ますので)

『戦争の惨禍』をふた
たびくり返すまいとす
る決意によつてのみ」
憲法の平和主義・民主
主義は支えられてきた
のであって、『戦争の
惨禍』を体験していな
い戦後世代が年ごとに
増加していくにつれ、
憲法の改悪ないし第三
時世界大戦の悲劇の再
現を阻止」する力が弱
まるだろうと。(「太平
洋戦争」一九六七年)

「紛争を解決する手
段として武力を使用し
ない」という憲法の分
かりやすい規定は、ど
こに置き忘れられたの
でしょうか。

◆5月1日 おやつ

に・・・

このおやつは、ご利用
 者様が毎日作ってくれる。



そばまんじゅう、ゼリー、豆乳プリン、
 どら焼き・・・。カフェが開けるく
 らいメニューも豊富ですが、今日は頂
 いたぼた餅をおやつに頂くことに。

「今日は作らないの？」と不満げ。で
 も、「他人が作ったのを食べるって美
 味しいね」と笑顔も満載。たまには工
 房もお休みしなきゃね。

◆5月3日 ちゃつきり節

昨日は八十八夜、ちゃつきり節を皆さ
 んで手拍子しながら歌いました。若い
 ころ、民謡踊りをやっていたらしたKさ



ん、いつも「忘れ
 ちゃった」って踊
 って下さらないけ
 ど、今日は手振り
 よろしく踊って下
 さいました。皆さ

んもまねして踊りました。(^^♪

◆5月7日 ツタンカーメンのお豆ご
 飯

珍しい赤いさやの実えんどうをどっ
 さりいただきました。皆さん初めて見
 たとびっくり！古代エジプトのツタ
 ンカーメンのお墓から出てきた種で
 世界的に増えた種類だと聞いてさら
 にびっくり！皆さんでさやをむいて
 又びっくり！さやの中に大きなお豆
 がぎっしり入っていました。お豆ご飯
 にしてそのおいしさに又びっくり！
 皆さんでおいしく頂きました。

◆5月19日 文字並べ(ぼたはらい)

文字を並べ変えて季節の言葉を作っ
 ていただきました。「たうえ」「たおこ
 し」とでました。「ぼたはらい」って
 でました。「何それ？」ずっと田んぼ
 でお米を作っていたらしたIさん、「ぼ
 たは田んぼのまわりのこと、田植え前
 にまわりの草をはらってきれいにす
 ることだよ」「へえー！」そろそろ田
 植えが始まりますね。

◆5月21日 いちご狩り

ここ倶楽部の庭のプラ
 ンターのいちご、小さ
 いながらも毎日少しずつとれます。今



日も庭の散策がてらいちご狩りをし
 ました。「大きいいちごだやー」「たく
 さん食べれるやー」「庭でいちご狩り
 できるとこなんてないにー」って言い
 ながら小さいいちごを一粒ずつ採っ
 て食べていました。大きいいちごをど
 っさり食べていただけなくてごめん
 なさい。

◆5月23日 花博日帰り旅行

今日は待ちに待った「花博日帰り旅
 行」。

利用者さん18名、スタッフ7名、計
 25名でバスに乗り込み、いざ出発！
 日頃の機能訓練の成果、車いすの方も
 普通のバスに乗り、園内を散策。バラ
 が見事に咲き乱れ、皆さんもとっても
 満足でした。園内はかなり広がったで
 すが皆さん、がんばって歩きましたよ。
 今日はゆっくり寝れますね。

◆5月29日 畳で体操

今日は畳の上に足を投げ出してふく
 ろはぎをマッサージしたり、寝転がっ
 て転がったり、腹這いになって腹筋を
 やったりしました。畳って本当に気持
 ちがいいですね。体操やった後、皆で

畳に大の字になってしばらく寝転んでお話したり、歌ったりしました。とっても温かな時間がながれました(*^`)_v

◆5月30日

今日はかわいいお客様、頭陀寺幼稚園の年長組さんが



来てくれました。歌ったり踊ったりしてくれてご利用者の皆さん、初めから終わりまで目を細めっぱなし、いっしょにこままわしをしたり、あやとりをしたりして交流しました。ご利用者の皆さんで折った「かえる」でひと遊びして、おみやげに持って行っていただきました。